

様

要 望 書

九州新幹線西九州ルートの整備促進について

平成31年3月

長 崎 県

九州新幹線西九州ルートは、西九州地域の産業振興や交流人口の拡大等につながる重要な交通基盤であり、関西・中国圏との連携による社会経済の発展に寄与するものであります。沿線地域では、官民が一体となって、新幹線の効果を最大限に発揮できるよう、ソフト・ハード両面から新幹線を活用した魅力あるまちづくりに取り組んでいるところであり、一日も早い全線開業が期待されております。

この西九州ルートについては、フリーゲージトレイン(FGT)が山陽新幹線へ乗り入れるという前提でありましたが、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム「九州新幹線(西九州ルート)検討委員会」において、高速化の進む山陽新幹線への乗り入れは困難であることから、西九州ルートへの導入は断念せざるを得ないとされております。

今後の整備のあり方について、同検討委員会において、フル規格又はミニ新幹線のいずれかを選択するとされておりますが、ミニ新幹線については、工事期間中に輸送力が低下することや輸送障害の発生によりダイヤの安定性が劣ることなどの課題があります。

一方、フル規格については、昨年3月に高い整備効果が示され、本県としてもこの結果を高く評価しており、フル規格により整備することこそ西九州地域の発展に最も寄与することをあらためて確認したところであります。

未だ西九州ルートの全体像が見えない中、武雄温泉・長崎間の建設費増加に伴う追加負担に対応することに対し、県民も西九州ルートの先行きに不安を感じております。

つきましては、西九州ルート of 整備を進めるため、次の事項について、格段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

1. 武雄温泉駅での対面乗換を早期に解消し、西九州ルート of 本来の姿である新大阪までの直通運行を実現するため、また併せて、武雄温泉・長崎間の建設費増加について県民の理解を得て対応するためにも、一刻も早く新鳥栖・武雄温泉間の整備のあり方に係る議論を進め、早期に整備方針を示すこと。
その際、整備方式については、投資効果・収支改善効果・時間短縮効果が最も高いフル規格によること
2. 国において開発が進められてきた FGT の導入が断念されたという特殊事情も考慮し、責任ある立場として、国において地方負担や並行在来線等の課題解決に向けた方策を示すこと
3. 新鳥栖・武雄温泉間の整備のあり方に係る議論を進め、2020年度予算に環境影響評価調査費を計上すること

平成31年3月

長崎県知事

中村 法道

長崎県議会議長

溝口 芙美雄

長崎県議会九州新幹線西九州ルート整備特別委員会

委員長 八江 利春

長崎県九州新幹線長崎ルート建設促進議員連盟

会長 下条 ふみまさ

長崎県商工会議所連合会

会長 宮脇 雅俊

長崎県商工会連合会

会長 宅島 壽雄

長崎県中小企業団体中央会

会長 石丸 忠重

長崎経済同友会

代表幹事 坂井 俊之

(一社)長崎県観光連盟

会長 宮脇 雅俊

(公社)日本青年会議所九州地区長崎ブロック協議会

会長 光富 英治

【九州新幹線西九州ルート概要図】

